



R6年度

南風

牛深東小だより
2024年12月23日(月)
NO9 文責 原田琢二

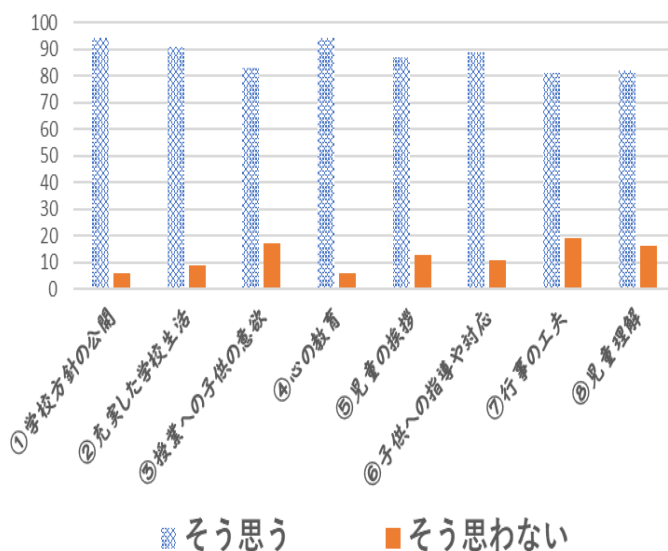
季節が一気に進み、師走らしい寒さがやってきました。皆様、年越しを前にお忙しい毎日をお過ごしのことと思います。今年は元日に能登半島地震が発生し、多くの方の生命や財産が奪われるという災害から始まりました。また、夏の記録的な猛暑や各地の豪雨災害など、これまでには見られなかったことを経験した年でもありました。そのような中でしたが、本校の子供たちは、地域や保護者の皆様のご協力を受け、今年も各学年が、豊かな体験活動を通して様々な実感を伴った学びを経験することができました。写真は先日行われた持久走・餅つき大会の様子です。地域の皆さんに田植えからご協力いただき、5年生が収穫した餅米を使い、全校児童で餅つきを体験しました。これは子供と大人のふれあいの場をもとうという趣旨から、PTAと学校が共同開催した初めての試みでした。今後、皆さんからいただいたご意見をPTAの皆さんと協議して、より良い活動に育てていければと考えております。様々な面から活動を支えていただいた皆さん、大変お世話になりました。来年もどうぞよろしくお祈りします。皆様よいお年をお迎えください。



《学校評価の結果公表》

11月に実施した保護者による学校評価の結果の一部を公表します。回答率は79%でした。①④に関しては概ね高い評価をいただきました。特に④「心の教育面」では肯定率94%（否定率6%）と高く、道徳教育を中心とした日々の心の教育を評価いただいたと考えております。一方、⑦「行事の工夫」については肯定率80%（否定率20%）でした。運動会や今回の持久走大会など、さらに工夫改善を図りたいと思います。また、③「児童の授業意欲」⑧「児童理解」についても否定率が10%を超えていました。授業改善の工夫を続けつつ、保護者へ授業を見ていただく機会を増やし、子供たち一人一人に目を向けた生徒指導をさらに充実させていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

学校評価アンケートの結果（一部抜粋）



しめ縄作り

先日、5年生は吉田地域のボランティアの方をお招きして、しめ縄りに挑戦しました。種まきから田植え、稲刈り、餅つき、そして最後は、しめ縄作りを体験しました。子供たちは器用に縄を編み、それぞれオリジナルのしめ縄を作っていました。一連の米作りを通じて、昔から大切にされてきた稲作文化について触れ、捨てる場所なく生かす米作りの奥深さを感じてくれたと思います。地域の皆様、大変お世話になりました。